介護予防支援経過記録（サービス担当者会議の要点を含む）

末期がんの場合の記載例

利用者氏名　　計画作成者氏名

年 月 日	方法	内　　容	年 月 日	方法	内　　容
R○／○／○	訪問	【□□病院○○医師に意見聴取】			・・・状態像ⅱ）の状態であることを参加者全員で確認し情報
		末期の肝臓がんで末期の肝臓がんで、抗がん剤治療中。			共有を行い、特殊寝台及び特殊寝台付属品の利用が必要であり
		腹水もみられ予後不良。今後、急激に状態悪化し、			末期がんの方の福祉用具貸与について申請を行う。
		起き上がりが困難な状態に至ることが見込まれ、状態像			～のため、訪問介護サービスを導入し支援を行う。
		ⅱ）の状態である。特殊寝台及び付属品の利用が必要で			残された課題
		ある。			特殊寝台導入後の生活動作などの確認
R○／○／○	訪問	【サービス担当者会議】			緊急時の対応等、主治医や医療の訪問看護との連携を密に図る
		出席者：本人（○○様）　妻（○○様）　□□病院○○			
		医師　福祉用具専門相談員　○○氏　△△訪問介護事業			
		所　○○氏			
		検討した項目			
		１．特殊寝台及び特殊寝台付属品の貸与について			
		２．訪問介護の利用について			
		検討内容			
		①主治医の意見			
		○月○日　□□病院　○○医師に直接訪問し意見聴取。			
		末期の肝臓がんで、抗がん剤治療中。腹水もみられ予後			
		不良。今後、急激に状態悪化し、起き上がりが困難な状			
		態に至ることが見込まれ、状態像ⅱ）の状態である。特			
		殊寝台及び付属品の利用が必要である。			
		②本人・家族の意向			
		③福祉用具専門相談員の意見			
		④介護支援専門員及びサービス提供担当者の意見			
		結論			

① 医師に必要性を確認した日時と確認方法
② 医師名および病院名
③ 診断名
④ 医学的所見及び状態像
⑤ 必要とする福祉用具と必要と判断した理由

※1　介護予防支援経過は、具体的には、時系列に出来事、訪問の際の観察（生活の活発さの変化を含む）、サービス担当者会議の内容、利用者・家族の考えなどを記入し、介護予防支援や各種サービスが適切に行われているかを判断し、必要な場合には方針変更を行うためのサービス担当者会議の開催、サービス事業所や家族との調整などを記入する。

2　サービス担当者会議を開催した場合には、会議出席者（所属（職種）氏名）、検討した内容等を記入する。